
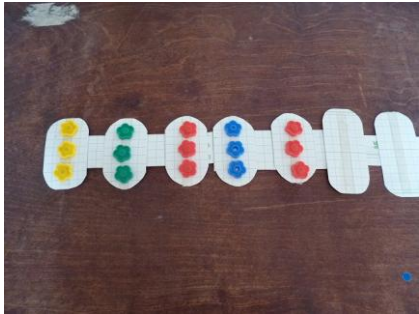


## 視覚障害に応じた教材・教具

教科名	教材・教具名	対象児童生徒の状態
教科・領域 ( 算数 ) その他 ( )	何このいくつぶんかな	(小) 学部 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">全盲</span> ・ 弱視
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かけざんの導入時、「何個のいくつ分になるか」、おはじきを実際に並べることによって理解を促す。</li> <li>・ かけられる数だけ増えていく、足し算をしていけばよいことに気づく。</li> <li>・ 文章題を解く時の挿絵の代わりとする。</li> </ul>	
制 作 方 法	<p>(1) 材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工作用紙、両面テープ</li> </ul> <p>(2) 制作のポイント・工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはじきの磁石だけでは触ると乱れるので、両面テープをラインとして貼り、その上におはじきを置くことで、触って数えてもおはじきが乱れないようにする。おはじきを貼ったりはがしたり何度でも使え、粘着力が弱くなったらもう1度上からテープを貼り替えるだけで簡単にできる。</li> <li>・ 数が把握しやすいように、間を開けて両面テープを貼る。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
使 い 方	<p>(例)・「3この5つ分」では実際に3こずつ、5列のおはじきを並べ、15になることを確かめる。いくつかの操作をすることで3こずつ(かけられる数だけ増えていく、足し算していけばよいこと)増えていくことに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「5この3つ分」も操作することで、答えが同じ15でも意味する「何このいくつ分」が異なることに気づく。</li> </ul>	
改 善 点		